



平成28年2月24日(水)

国土交通省 関東地方整備局

横浜国道事務所

京浜港湾事務所

- 記者発表資料 -



国道357号東京湾岸道路が
(本牧ふ頭～大黒ふ頭)

3月27日(日)に開通します。

～横浜市内の国道357号のミッシングリンクが遂につながる～

◇ 開通による主なストック効果 ◇

- ・鶴見区大黒ふ頭から金沢区福浦までが国道357号東京湾岸道路でつながり、横浜港湾岸エリアの物流が効率化し、企業の生産性向上が期待されます

※開通時刻、開通式典の概要については、後日お知らせします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ
横浜市政記者会、横浜海事記者クラブ、横浜テレビ・ラジオ記者会

お問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所

副所長 佐藤 重孝

電話 045-311-2981 (代表)

調査課長 藤平 忠晴

(「本牧出口ランプ」について)

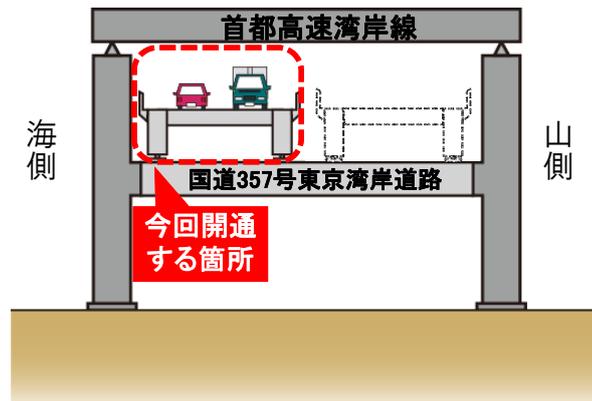
国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所

統括建設管理官 千葉 照男

電話 045-226-3765

企画調整課長 有路 隆一

■ 今回開通区間の標準断面図



■ 今回開通区間の状況



写真①: 磯子側アプローチ部



平成28年1月撮影

写真②: 本牧ふ頭出入口交差点



平成28年1月撮影

写真③: 高架橋部



平成28年1月撮影

写真④: ダブルデッキの下層を今回開通



平成28年1月撮影

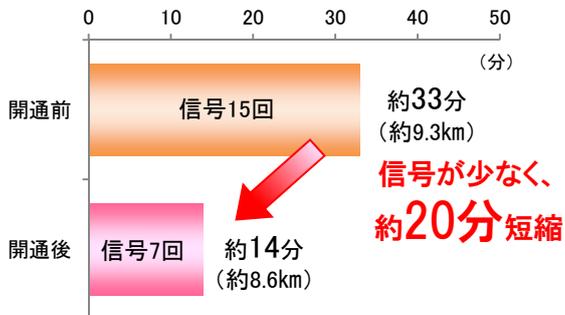
効果 横浜港ふ頭間の輸送時間短縮～企業の生産性向上に期待～

- 今回の開通により、南本牧ふ頭～大黒ふ頭までの輸送時間は約20分の短縮が期待
- 大黒ふ頭から福浦地区まで国道357号東京湾岸道路でつながり、湾岸地域の工場間の輸送が効率化するため、企業の生産性の向上が期待されます
- 周辺企業は、横浜港に近い立地の良さを、一層発揮することが可能になります



南本牧ふ頭～大黒ふ頭間の輸送時間の短縮

(南本牧ふ頭入口交差点～横浜税関大黒埠頭出張所)



データ：実測調査結果（H27.5.19 7時台上り）
(未開通区間については、規制速度と延長より算出)

横浜ベイブリッジへ連絡する市道の交通状況

📷：大黒ふ頭方面へ向かう車列



コンテナ車両の交通集中による先づまり渋滞発生

平成28年1月 9時台撮影

工場間・ふ頭間の物流状況(自動車部品)



横浜港に近い立地の良さを、一層発揮



自動車メーカーの期待の声



コンテナに積み込んだ自動車部品の輸送では、搬入の時間が指定されている。国道357号の本牧地区の開通により、道路の混雑が解消すれば、輸送時間短縮になり、輸送にかかる負担が相当軽減される。

大黒側にある部品工場から横須賀方面への輸送は、本牧地区が開通すれば、金沢産業団地まで国道357号を利用することで効率的な輸送が可能になり企業の生産性向上につながると期待している。

出典：平成28年1月 ヒアリング調査（横浜国道事務所調べ）

参考資料 本牧出口ランプの概要

＜京浜港湾事務所では、横浜港の国際コンテナ戦略港湾の取り組みの一環として、横浜港内や背後圏とのアクセス強化のため、臨港道路の整備を行っています。＞

■ 本牧出口ランプの概要

- 今般、国道357号東京湾岸道路(本牧地区)の開通にあわせ、本牧ふ頭内に新たな出口ランプが開通します。
- 今回開通区間の概要
路線名：本牧出口ランプ
開通区間：横浜市中区本牧ふ頭A突堤内
延長：約0.6km
車線数：1車線



■ 本牧出口ランプの整備目的

- 出口ランプの整備により、横浜港における物流の拠点である大黒ふ頭から、消費地である横浜市中心部や多くの物流施設が立地する新山下地区・山下ふ頭などへの円滑な輸送が確保されます。

横浜市中心部方面へ向かう物流車両

